

今回の登場人物



こうしな しんや
神志那 信也さん
入社25年/店舗運営部次長
第一地区担当 中ノ島店店長



あべ なつき
阿部 夏海さん
入社5年/中ノ島店惣菜部
主任



たにがuchi たかし
田原 敦さん
入社15年/野口店青果部
佐伯地区青果バイヤー兼主任

⑨ お客様から、「美味しかった。また作ってね」と声を掛けていただけるうれしいですね。土用丑つしうの日の鰻うなぎやお盆のオードブルなど、

— 会社・業務の好きなところ —

⑩ スーパーマーケットで働く醍醐味は、直接仕入れて、直接売ること。しかも、その日に売上数値として結果が分かるから楽しいですよ。

— どんな仕事をしてる? —

神志那さん(以下⑨) 佐伯地区6店舗をはじめ、臼杵、津久見、坂ノ市、三重の計10店舗を担当し、中ノ島店の店長を兼任しています。中ノ島店を中心に各店を巡回して、指示を出すのが仕事です。



店内で作る
オリジナル惣菜



⑪ 幅広い年齢層のお客様に支持される商品を提供していきたいです。

⑫ 佐伯市は食べ物が美味しい、宝の山たからやま(笑)。市内でもまだ知られていない野菜や果物を探して、お客様にご紹介していきたいですね。

— 今後、取組みたい仕事 —

⑬ お客様がマルミヤストアで商品を購入し、食卓に彩りを添えることで、ご満足いただけるとうれしいですね。お客様が幸せということは、売上が上がった店舗の店長や従業員も幸せになれるということですから。佐伯市の皆さんは、こちらが「おはようございます」と言ったら、必ず挨拶を返してください。話しやすい雰囲気です。ご苦労さんご苦労さんなんて温かい言葉も掛けてくださるので励みになりますよ。



株式会社マルミヤストア

佐伯市野岡町2-1-10
TEL 23-8111 FAX 24-3188
http://www.marumiya-st.jp

代表者:池邊 恭行
設立年月:1972年5月
資本金:約8億828万円
売上高:単体272億円
(グループ684億円)
従業員数:279人



こちらから動画をご覧いただけます。

小粋なTopics

スタッフのおし / 佐伯スポット

道の駅宇目

宮崎県境にある休憩スポットで、レストランや物産売店、宇目エコパークセンターなどがあります。北川ダムに架かる「唄げんか大橋」も必見です。

マルミヤストア



今回は 1972年に佐伯市で創業し、今年50周年の節目を迎える



株式会社マルミヤストア

佐伯発、粋いきで元気な企業と働く人々をご紹介します。

いきな
佐伯の
ひとと企業
Vol.17

GoGoSaiki!



家庭の食卓を支え続ける

— 大切にしたい佐伯市の食文化 —

佐伯市で昔から続いている食文化を大切にしたい。そのような思いで店舗を運営し、地域の皆様の豊かな食生活に貢献することを目指しています。定番商品が品切れにならないよう気を付けたり、適切な価格帯とすることや少量パックなどお客様が欲しい商品を提供できたりするよう心掛けています。

— 今年、創業50周年の節目 —

九州内に44店舗を展開するマルミヤストアは、昭和47年に佐伯市に1号店を開業し、市内に本社を

置くスーパーマーケットです。マルミヤストアグループには、アタックスと新鮮市場もあります。平成8年の株式上場や県内外の各店舗の開店・新規出店を経て、九州各地の多くのお客様に利用いただいています。今後も、コロナ禍における感染対策を行いながら、お客様のライフラインの一端を担ってまいります。

— 食のライフラインを守る —

佐伯市の人口は減少傾向ですが、客数が少ないからという理由で地域から店舗撤退をするのではなく、継続して運営できるようにするため、システムや物流などに投資して生産性を上げていきたいです。鮮度・価格・品揃えそろえに更なる磨きをかけて、お客様から支持される店づくりに励みます。